

日本測量協会四国支部

測量・地理空間セミナー開く

日本測量協会四国支部は、測量・地理空間情報技術者のためのアドバンスセミナーを徳島市内で開いた。写真。会員や四国の各県測量設計業協会会員ら24人が参加し、最新の技術動向や技術力を生かすスキル、CPD

ポイントの活用方法などについて知識を深めた。

セミナーでは、国土地理院四国測量部防災・地理空間情報管理官の宮本歩氏が、防災を支える地理空間情報をテーマに災害予防に活用できる地図やデータ、災害応急対策

用に緊急作成している地図情報について解説した。



続いて日本測量協会の担当者らが「測量業界を取り巻く動向と測量技術講習等の概要」や「地理空間情報技術の新たな動向」、「技術提案書作成に向けた取り組み方」など技術的内容や技術を生かす取り組みなど六つのテーマを講義した。

講習会は、全国測量設計業協会連合会四国地区協議会が共催した。